

令和3年度

# 入学者選抜要項

新型コロナウイルス感染症の影響で、試験日程や試験方法が変更となる可能性があります。変更となる場合は、本学ホームページでお知らせします。

令和2年7月



## 選抜日程及び試験地

	総合型選抜	学校推薦型選抜			一般選抜	
		推薦選抜Ⅰ	推薦選抜Ⅱ	推薦選抜Ⅲ	前期日程	後期日程
試験地	由利本荘市、秋田市	由利本荘市、秋田市			由利本荘市、秋田市、東京都、仙台市、名古屋市	
障害等のある入学志願者の事前相談	令和2年9月8日(火)まで	令和2年10月23日(金)まで		令和2年12月18日(金)まで	令和3年1月20日(水)まで	
出願期間	令和2年9月15日(火)～18日(金)	令和2年11月9日(月)～13日(金)		令和3年1月4日(月)～8日(金)	令和3年1月25日(月)～2月5日(金)	
学力検査等期日	令和2年10月10日(土)	令和2年11月21日(土)		令和3年2月6日(土)	令和3年2月25日(木)	令和3年3月12日(金)
合格者発表	令和2年11月1日(日)	令和2年12月1日(火)		令和3年2月16日(火)	令和3年3月6日(土)	令和3年3月21日(日)
入学手続	令和2年11月5日(木)、6日(金)	令和2年12月10日(木)、11日(金)		令和3年2月21日(日)、22日(月)	令和3年3月14日(日)、15日(月)	令和3年3月25日(木)、26日(金)

※ 各選抜区分における学生募集要項の発表時期等は26ページを参照してください。

# 目 次

I	秋田県立大学アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）等	1
II	入学定員と募集人員	2
III	システム科学技術学部	3
1	アドミッション・ポリシー	3
2	求める人材	3
3	高等学校等段階での修得が望ましい教科と内容	4
4	入学者受入の種類と方法の概要	4
5	過年度の大学入試センター試験成績	4
6	入学者選抜方法等	5
	(1) 一般選抜【詳細は5～8ページ】	
	(2) 総合型選抜・学校推薦型選抜【詳細は9～12ページ】	
IV	生物資源科学部	14
1	アドミッション・ポリシー	14
2	求める人材	14
3	高等学校等段階での修得が望ましい教科と内容	14
4	入学者受入の種類と方法の概要	15
5	過年度の大学入試センター試験成績	15
6	入学者選抜方法等	16
	(1) 一般選抜【詳細は16～19ページ】	
	(2) 総合型選抜・学校推薦型選抜【詳細は20～23ページ】	
V	障害等のある入学志願者の合理的配慮に関する事前相談について	24
VI	秋田県立大学個別の入学資格審査について	24
VII	入学生特待生について	25
VIII	オープンキャンパス等の進学広報イベントのお知らせ	26
IX	募集要項の発表時期及び請求方法	26
	新型コロナウイルス感染症に伴う入学者選抜に関する方針	28
	令和2年度入学者選抜状況	29

# I 秋田県立大学アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）等

## ● アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

本学では次のような資質を持つ学生を受け入れる。

1. 明確な目的とその実現のための意欲と学力を有すること
2. 旺盛な知的好奇心を持っていること
3. 必要なコミュニケーション能力があること

## ● カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

本学では、目的とする人材養成のため、教育課程編成・実施の方針を次のとおりとする。

1. 現代の科学技術の幅広い要請に応えられるよう、問題発見能力と解決能力を兼ね備えた、技術者などの産業人・研究者および教育者の育成を目指した教育を行う
2. 時代の変化に対応し、自ら能力を磨くことができるよう、情報処理能力、外国語能力、コミュニケーション能力など、不断の学習活動に必要な基礎的能力の訓練を重視し、自立した社会人の形成に資する教育を行う

## ● ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

本学では、以下の能力を身に付け、卒業に必要な単位を修得した学生に学位を授与する。

1. 時代の変化に対応できる問題解決能力を備えていること
2. 自らを磨くことができる基礎的能力を備えていること

※このページに記載しているものは全学のものであります。学部・学科のアドミッション・ポリシーについては、**Ⅲ システム科学技術学部**または**Ⅳ 生物資源科学部**のアドミッション・ポリシー掲載ページで確認してください。また、学部・学科の詳細なカリキュラム・ポリシー及びディプロマ・ポリシーについては本学ホームページ (<https://www.akita-pu.ac.jp/>) を参照してください。

## Ⅱ 入学定員と募集人員

学 部 学 科		入 学 員	募 集 人 員						総 計
			総合型 選 抜	学校推薦型選抜			一般選抜 (分離分割方式)		
				推薦 選抜 Ⅰ	推薦 選抜 Ⅱ	推薦 選抜 Ⅲ	前期 日程	後期 日程	
シ ス テ ム 科 学 技 術 学 部	機 械 工 学 科	60	3	4	4	7	32	10	60
	知能メカトロニクス学科	60	3	4	4	7	32	10	60
	情 報 工 学 科	40	2	3	4	3	20	8	40
	建築環境システム学科	40	2	2	2	6	20	8	40
	経営システム工学科	40	2	2	5	3	20	8	40
	計	240	12	15	19	26	124	44	240
生 物 資 源 科 学 部	応用生物科学科	40	2	2	4	4	20	8	40
	生物生産科学科	40	2	2	4	4	20	8	40
	生物環境科学科	30	2	2	3	2	15	6	30
	アグリビジネス学科	40	2	10*	4	2	16	6	40
	計	150	8	16	15	12	71	28	150
総 計		390	20	31	34	38	195	72	390
				103			267		

(備考)

※アグリビジネス学科「推薦選抜Ⅰ」は、募集人員10人のうち5人は秋田県内の高等学校等を卒業（修了）見込みの者から選抜し、その他5人は秋田県内を含む全国の高等学校等を卒業（修了）見込みの者から選抜します。

# Ⅲ システム科学技術学部

## 1 アドミッション・ポリシー

システム科学技術学部では、各教育課程における専門技術とそれらに関連する知識を修得し、システム思考<sup>\*注)</sup>により、時代の変化に応じた問題解決能力とものづくりの場への適用が可能な人材の育成を目指している。

したがって、以下の条件を基準として学生を受け入れる。

1. 高校教育課程で定められた基礎学力を有すること
2. 明確な目標とその実現のための意欲と思考力を有すること
3. 旺盛な知的好奇心をもっていること
4. 必要なコミュニケーション能力があること

※注) システム思考とは、分野ごとに高度に専門化・細分化してきたこれまでの工学に欠けていた「統合」の観点を取り入れて、専門技術の合理的調和を図る考え方をいう。

## 2 求める人材

システム科学技術学部では「入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）」で示した資質に加え、学科ごとに次のような資質を持つ人を求めている。

機 械 工 学 科	①機械工学を理解するのに必要な数学と物理学の基礎学力を有する人 ②ものづくりに興味を持ち、仲間と協力して問題解決に取り組める人
知能メカトロニクス学科	①数学と物理学の基礎学力を有し、ものづくりに興味のある人 ②メカトロニクスの専門知識を学ぶ意欲があり、仲間と協力できる人
情 報 工 学 科	①情報工学に関心をもち、新しい技術やシステムを創造して社会に貢献する熱意を有する人 ②数学と物理学の基礎学力を有し、自ら好奇心をもって新しいことに取り組める人 ③自分の意見を明確に表現し、仲間と協力して問題解決に取り組める人
建築環境システム学科	①基礎学力と科学に関する総合的な基礎知識を有する人 ②建築、都市、環境に関する知的好奇心にあふれ、積極的に目標に向かって努力できる人
経営システム工学科	①経営工学を理解するのに必要な数学および科学全般の基礎学力を有する人 ②社会環境に関する広い視野を身につけ、社会に貢献する意欲を有する人 ③リーダーにふさわしい想像力、積極性、協調性を有する人

### 3 高等学校等段階での修得が望ましい教科と内容

理 科	物理基礎、化学基礎に加え、少なくとも物理又は化学のいずれかを履修していることが望ましい。特に、機械工学科、知能メカトロニクス学科、情報工学科、建築環境システム学科の4学科では、物理を履修していることが望ましい。
数 学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学Bに加え、数学Ⅲを履修していることが望ましい。
英 語	平易な英文を辞書なしで読み進められる語彙力・文法力を有していることが望ましい。
その他	他の教科・科目については、コミュニケーションのために十分な国語力と、技術者として社会の持続的発展に資するための地理、歴史、公民に関する基礎的レベルの知識を有していることが望ましい。

### 4 入学者受入の種類と方法の概要

一 般 選 抜	前 期 日 程	科学や工学の専門的知識を修得できるかを判断するため、大学入学共通テストによる基礎学力、個別学力試験の理科と数学の学力を重視する。また、調査書で高校での主体性のある活動や態度などを評価する。
	後 期 日 程	大学入学共通テストによる基礎学力のほか、問題解決に取り組む資質や論理的な思考力、表現力を判断するため、個別学力試験での小論文を重視する。また、調査書で高校での主体性のある活動や態度などを評価する。
総 合 型 選 抜		本学での修学に明確な目標を持ち、科学や工学の知識を活かして地域に貢献する意欲や、表現力および主体性を判断するためのプレゼンテーションと、学びに対する関心・意欲、思考力・判断力、協働力、基礎学力などを確認するための面接を重視する。
学 校 推 薦 型 選 抜	推 薦 選 抜 Ⅰ	本学での修学に明確な目標を持ち、ものづくり・ことづくり（付加価値の創出）に関する基礎的知識、思考力・判断力、表現力をみるための小論文と、将来、地域社会・産業活性化のリーダーとなり得る人材であるかを判断するため、学びに対する関心・意欲や主体性、協働力、基礎学力などを確認するための面接を重視する。
	推 薦 選 抜 Ⅱ	本学での修学に明確な目標を持ち、ものづくり・ことづくり（付加価値の創出）に関する基礎的知識、思考力・判断力、表現力をみるための小論文と、将来、地域社会・産業活性化のリーダーとなり得る人材であるかを判断するため、学びに対する関心・意欲や主体性、協働力、基礎学力などを確認するための面接を重視する。
	推 薦 選 抜 Ⅲ	本学での修学に明確な目標を持ち、ものづくり・ことづくり（付加価値の創出）に関する基礎的知識と、将来、研究者や技術者として取り組む意欲などを確認するため、大学入学共通テストによる理科、数学の学力と面接を重視する。

### 5 過年度の大学入試センター試験成績

過年度の大学入試センター試験の成績は、利用しません。

## 6 入学者選抜方法等

### (1) 一般選抜

#### 前期日程

実施学科	機械工学科	知能メカトロニクス学科	情報工学科	建築環境システム学科	経営システム工学科
募集人員	32	32	20	20	20
求める人材	高等学校等教育課程で定められた基礎学力を有し、中でも科学や工学を学ぶために必要な数学、理科の学力を有する人				
出願要件	<p>次の①から③のいずれかに該当し、令和3年度大学入学共通テストで本学部の指定する教科・科目を受験している者が出願できます。</p> <p>① 高等学校または中等教育学校を卒業した者及び令和3年3月卒業見込みの者（学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第104条第3項の規定により、学年の途中において、学期の区分に従い、高等学校の卒業を認められる者も含む）</p> <p>② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和3年3月修了見込みの者</p> <p>③ 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者のうち、次の各項目のいずれかに該当する者及び令和3年3月31日までにこれに該当する見込みの者</p> <p>ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの</p> <p>イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者</p> <p>ウ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者</p> <p>エ 文部科学大臣の指定した者（昭和23年5月31日文部省告示第47号）</p> <p>オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同令附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む）で18歳に達したもの</p> <p>カ 本学の定めるところにより、個別の入学資格審査をもって、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本学において認めた者で、18歳に達したもの</p> <p>※入学資格審査については、24ページを参照してください。</p>				
選抜方法等	<p>大学入学共通テスト及び個別学力検査（各学科が指定する学力検査）の成績並びに調査書を総合して判定します。</p> <p>各学科の実施教科・科目等は、7～8ページを参照してください。</p>				
出願期間	令和3年1月25日（月）～2月5日（金）				
選抜期日	令和3年2月25日（木）				
合格者発表	令和3年3月6日（土）				

## 後期日程

実施学科	機械工学科	知能メカトロ ニクス学科	情報工学科	建築環境 システム学科	経営システム 工 学 科
募集人員	10	10	8	8	8
求める人材	高等学校等教育課程で定められた基礎学力を有し、論理的な思考力・表現力に加え、問題解決に取り組む資質を有する人				
出願要件	<p>次の①から③のいずれかに該当し、令和3年度大学入学共通テストで本学部の指定する教科・科目を受験している者が出願できます。</p> <p>① 高等学校または中等教育学校を卒業した者及び令和3年3月卒業見込みの者（学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第104条第3項の規定により、学年の途中において、学期の区分に従い、高等学校の卒業を認められる者も含む）</p> <p>② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和3年3月修了見込みの者</p> <p>③ 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者のうち、次の各項目のいずれかに該当する者及び令和3年3月31日までにこれに該当する見込みの者</p> <p>ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの</p> <p>イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者</p> <p>ウ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者</p> <p>エ 文部科学大臣の指定した者（昭和23年5月31日文部省告示第47号）</p> <p>オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同令附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む）で18歳に達したもの</p> <p>カ 本学の定めるところにより、個別の入学資格審査をもって、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本学において認めた者で、18歳に達したもの</p> <p>※入学資格審査については、24ページを参照してください。</p>				
選抜方法等	大学入学共通テスト及び個別学力検査（小論文）の成績並びに調査書を総合して判定します。各学科の実施教科・科目等は、7～8ページを参照してください。				
出願期間	令和3年1月25日（月）～2月5日（金）				
選抜期日	令和3年3月12日（金）				
合格者発表	令和3年3月21日（日）				

## ◎一般選抜（システム科学技術学部） 8 ページの表の注意事項

一般選抜における、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の実施教科・科目等は、右表のとおりです。また、以下には右表の注意事項を記載しております。

### 8 ページ【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

- ※1 大学入学共通テストの地理歴史、公民において2科目受験した場合は、第1解答科目の成績を合否判定に利用します。
- ※2 大学入学共通テストの『簿記・会計』、『情報関係基礎』を選択する者は当該単位の修得を条件とします。
- ※3 大学入学共通テストの理科で、理科①と理科②を選択する場合は、「同一名称を含む科目」を選択することができます。
- ※4 大学入学共通テストの外国語『英語』には、リスニングを含みます。

### ○大学入学共通テストの配点について

国語：大学入学共通テストの配点200点を100点に換算します。

理科：大学入学共通テストの理科①の配点は2科目100点、理科②の配点は1科目100点とします。

英語：配点はリーディング100点、リスニング100点とします。ただし、大学入試センターがリスニングの免除を認めた場合は、リーディングの配点を200点とします。

### 8 ページ【個別学力検査等】欄

- ※5 数学の数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Aは、全範囲を出題範囲とします。数学Bは、「ベクトル」と「数列」を出題範囲とします。
- ※6 理科の物理基礎・物理と化学基礎・化学は、高等学校学習指導要領に記載されている全項目を出題範囲とします。

### 8 ページ【欠員補充の方法】欄

- ※7 追加合格の実施の有無については、令和3年3月28日（日）以降に本学ホームページでお知らせします。

## ◎入学生特待生について

「入学生特待生」を希望する者は、25ページの「Ⅶ 入学生特待生について」を参照してください。



## (2) 総合型選抜・学校推薦型選抜

### 総合型選抜【大学入学共通テストを課さない】

実施学科	機械工学科	知能メカトロニクス学科	情報工学科	建築環境システム学科	経営システム工学科
募集人員	3	3	2	2	2
求める人材	秋田県内の高等学校在学中に本学部に関連する分野において特色ある活動を主体的に行った者を対象とし、本学での修学に明確な目標を持ち、将来、各学科で学んだ分野を活かして地域に貢献する意欲のある人				
出願要件	<p>次の①から③のすべてに該当する者</p> <p>① 秋田県内の高等学校を令和3年3月に卒業見込みの者（学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第104条第3項の規定により、学年の途中において、学期の区分に従い、高等学校の卒業を認められる者も含む）</p> <p>② 高等学校在学中に本学部に関連する分野において特色ある活動を主体的に行った者</p> <p>③ 合格した場合には入学を確約できる者</p>				
選抜方法等	<p>大学入学共通テストは課さず、「面接」、「プレゼンテーション」の結果を総合して評価します。なお、口頭試問、調査書、志望理由書の評価は面接に含み、特色ある活動に関する活動報告書の評価はプレゼンテーションに含みます。</p> <p>【配点：面接200点、プレゼンテーション300点】</p>				
出願期間	令和2年9月15日（火）～9月18日（金）				
選抜期日	令和2年10月10日（土）				
合格者発表	令和2年11月1日（日）				
備考	<p>① 本学の総合型選抜に合格し入学手続を行った者は、本学及び他の国公立大学（ただし、独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ）を受験しても、その大学の合格者とはなりません。</p> <p>② 総合型選抜の合格者は、総合型選抜の趣旨から、原則として入学辞退を認めません。ただし、合格者に特別の事情があり、令和3年2月22日（月）までに秋田県立大学長あてに「入学辞退届」を提出し、その許可が得られた場合に限り、入学辞退を認めます。なお、入学辞退が許可された者は、本学及び他の国公立大学を受験することができます。</p>				

◆ 「入学生特待生」を希望する者は、25ページの VII 入学生特待生についてを参照してください。

## 推薦選抜Ⅰ【大学入学共通テストを課さない】

実施学科	機械工学科	知能メカトロニクス学科	情報工学科	建築環境システム学科	経営システム工学科
募集人員	4	4	3	2	2
求める人材	<p>本学での修学に明確な目標を持ち、将来、地域社会・産業活性化のリーダーとなり得る、コミュニケーション能力、ものづくりに対する工学的センスや行動力を持った優秀な人</p>				
出願要件	<p>次の①から④のすべてに該当する者</p> <p>① 秋田県内の高等学校の工業、情報、水産に関する学科または総合学科（工業に関する専門科目を20単位以上修得見込み）を令和3年3月に卒業見込みの者（学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第104条第3項の規定により、学年の途中において、学期の区分に従い、高等学校の卒業を認められる者も含む）</p> <p>※ 経営システム工学科については、商業に関する学科または総合学科（商業に関する専門科目を20単位以上修得見込み）を卒業見込みの者も含む。</p> <p>② 志望する学部、学科に対し熱意と適性を有する者で、高等学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>③ 合格した場合には入学を確約できる者</p> <p>④ 調査書の全体の学習成績の状況が原則4.3以上である者</p>				
選抜方法等	<p>大学入学共通テストは課さず、「小論文」「面接」の結果を総合して評価します。なお、口頭試問、調査書、推薦書、志望理由書の評価は面接に含みます。</p> <p>【配点：小論文100点 面接200点】</p>				
出願期間	令和2年11月9日（月）～13日（金）				
選抜期日	令和2年11月21日（土）				
合格者発表	令和2年12月1日（火）				
備考	<p>① 国公立大学の学校推薦型選抜への出願は、一つの大学・学部に限られています。</p> <p>② ただし、本学の大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜（推薦選抜Ⅰ・Ⅱ）の合格発表後、同一学科の大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜（推薦選抜Ⅲ）に前者の不合格者が後者の被推薦者となった場合に限り、その出願を認めます。</p> <p>③ 本学の推薦選抜に合格した者は、本学及び他の国公立大学（ただし、独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ）を受験しても、その大学の合格者とはなりません。</p> <p>④ 合格者に特別の事情があり、合格者を推薦した学校長が、令和3年2月22日（月）までに秋田県立大学長あてに「推薦入学辞退願」を提出し、その許可が得られた場合に限り、入学辞退を認めます。入学辞退が許可された者は、本学及び他の国公立大学を受験することができます。</p> <p>⑤ 入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は、合格者の権利を消失するとともに、本学及び他の国公立大学を受験しても合格者とはなりません。</p>				

◆ 「入学生特待生」を希望する者は、25ページの **Ⅶ 入学生特待生について** を参照してください。

## 推薦選抜Ⅱ【大学入学共通テストを課さない】

実施学科	機械工学科	知能メカトロニクス学科	情報工学科	建築環境システム学科	経営システム工学科
募集人員	4	4	4	2	5
求める人材	<p>本学での修学に明確な目標を持ち、将来、地域社会・産業活性化のリーダーとなり得る、コミュニケーション能力、ことづくり（付加価値の創出）に対する科学的センスや想像力・創造力・行動力を持った優秀な人</p>				
出願要件	<p>次の①から④のすべてに該当する者</p> <p>① 秋田県内の高等学校を令和3年3月に卒業見込みの者で、推薦選抜Ⅰの対象者以外の者（学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第104条第3項の規定により、学年の途中において、学期の区分に従い、高等学校の卒業を認められる者も含む）</p> <p>② 志望する学部、学科に対し熱意と適性を有する者で、高等学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>③ 合格した場合には入学を確約できる者</p> <p>④ 調査書の全体の学習成績の状況が原則4.3以上である者</p>				
選抜方法等	<p>大学入学共通テストは課さず、「小論文」「面接」の結果を総合して評価します。なお、口頭試問、調査書、推薦書、志望理由書の評価は面接に含みます。</p> <p>【配点：小論文100点 面接200点】</p>				
出願期間	令和2年11月9日（月）～13日（金）				
選抜期日	令和2年11月21日（土）				
合格者発表	令和2年12月1日（火）				
備考	<p>① 国公立大学の学校推薦型選抜への出願は、一つの大学・学部に限られています。</p> <p>② ただし、本学の大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜（推薦選抜Ⅰ・Ⅱ）の合格発表後、同一学科の大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜（推薦選抜Ⅲ）に前者の不合格者が後者の被推薦者となった場合に限り、その出願を認めます。</p> <p>③ 本学の推薦選抜に合格した者は、本学及び他の国公立大学（ただし、独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ）を受験しても、その大学の合格者とはなりません。</p> <p>④ 合格者に特別の事情があり、合格者を推薦した学校長が、令和3年2月22日（月）までに秋田県立大学長あてに「推薦入学辞退願」を提出し、その許可が得られた場合に限り、入学辞退を認めます。入学辞退が許可された者は、本学及び他の国公立大学を受験することができます。</p> <p>⑤ 入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は、合格者の権利を消失するとともに、本学及び他の国公立大学を受験しても合格者とはなりません。</p>				

◆ 「入学生特待生」を希望する者は、25ページの Ⅶ 入学生特待生について を参照してください。

## 推薦選抜Ⅲ【大学入学共通テストを課す】

実施学科	機械工学科	知能メカトロニクス学科	情報工学科	建築環境システム学科	経営システム工学科
募集人員	7	7	3	6	3
求める人材	数学、理科の基礎学力を有し、本学での修学に強い意志を持つ人で、将来、研究者や技術者として取り組む意欲のある人				
出願要件	<p>次の①から④のすべてに該当する者</p> <p>① 秋田県内の高等学校を令和3年3月に卒業見込みの者（学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第104条第3項の規定により、学年の途中において、学期の区分に従い、高等学校の卒業を認められる者も含む）</p> <p>② 志望する学部、学科に対し熱意と適性を有する者で、高等学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>③ 合格した場合には入学を確約できる者</p> <p>④ 令和3年度大学入学共通テストで本学部が指定する教科・科目を受験する者</p>				
選抜方法等	<p>大学入学共通テストの成績と「面接」の結果を総合して評価します。なお、調査書、推薦書、志望理由書の評価は面接に含みます。</p> <p>大学入学共通テストで受験を要する科目</p> <p>数学①（100点）：「数学Ⅰ・A」</p> <p>数学②（100点）：「数学Ⅱ・B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1科目            ※『簿記・会計』及び『情報関係基礎』については、高等学校等で単位を修得している場合に選択可能</p> <p>理科②（100点）：「物理」または「化学（経営システム工学科志望者のみ選択可能）」</p> <p>【配点：大学入学共通テスト300点 面接100点】</p>				
出願期間	令和3年1月4日（月）～8日（金）				
選抜期日	令和3年2月6日（土）				
合格者発表	令和3年2月16日（火）				
備考	<p>① 国公立大学の学校推薦型選抜への出願は、一つの大学・学部に限られています。</p> <p>② ただし、本学の大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜（推薦選抜Ⅰ・Ⅱ）の合格発表後、同一学科の大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜（推薦選抜Ⅲ）に前者の不合格者が後者の被推薦者となった場合に限り、その出願を認めます。</p> <p>③ 本学の推薦選抜に合格した者は、本学及び他の国公立大学（ただし、独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ）を受験しても、その大学の合格者とはなりません。</p> <p>④ 合格者に特別の事情があり、合格者を推薦した学校長が、令和3年2月22日（月）までに秋田県立大学長あてに「推薦入学辞退願」を提出し、その許可が得られた場合に限り、入学辞退を認めます。入学辞退が許可された者は、本学及び他の国公立大学を受験することができます。</p> <p>⑤ 入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は、合格者の権利を消失するとともに、本学及び他の国公立大学を受験しても合格者とはなりません。</p>				

◆ 「入学生特待生」を希望する者は、25ページの **Ⅶ 入学生特待生について** を参照してください。

**MEMO**

---

## IV 生物資源科学部

### 1 アドミッション・ポリシー

生物資源科学部では、生物資源に関する先端科学や技術、考え方を修得し、的確なコミュニケーション能力を身に付けて、問題を発見し解決するために考え行動できる人材の育成を目指す。そのために、自らを磨くことができる基礎的能力、生物関連産業や農業・農村に関する基礎知識や関心を有する人材を受け入れる。

1. 高校教育課程で定められた基礎学力を有すること
2. 明確な目標とその実現のための意欲と思考力を有すること
3. 旺盛な知的好奇心をもっていること
4. 必要なコミュニケーション能力があること

### 2 求める人材

生物資源科学部では「入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）」で示した資質に加え、学科ごとに次のような資質を持つ人を求めている。

応用生物科学科	①生命科学や食品・醸造の専門知識と技術を学ぶために必要な生物と化学の基礎学力を有する人 ②専門分野の知識や能力を高めることに対して、積極的かつ意欲的に取り組むことができる人
生物生産科学科	①植物を中心とする生命現象を理解するのに必要な生物と化学の基礎学力を有する人 ②植物とその生産に関心があり、専門的知識を身につける意欲を有する人
生物環境科学科	①身の回りの自然環境に関心を持ち、フィールドの中で学び、行動することができる人 ②自然と人間が共存できる新たな技術開発や社会システムの構築に意欲を有する人 ③自然科学に関する基礎知識を持ち、自然への深い関心と探求心を有する人
アグリビジネス学科	①次代の農業・農村および食産業の発展を図ることに熱意を有する人 ②生産から消費までの知識・技術やアグリビジネスに対して高い学修意欲と知的探求心を有する人

### 3 高等学校等段階での修得が望ましい教科と内容

理科	生物基礎および化学基礎の知識を有していること。加えて、少なくとも生物または化学のいずれかを履修していることが望ましい。
英語	平易な英文を辞書なしで読み進められる語彙力・文法力に加え、身近な情報や自分の意見を英語で伝えられる能力（英検準2級程度以上）を有していることが望ましい。
数学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学Bを履修していることが望ましい。
その他	他の教科・科目については基礎的レベルの知識を有していることが望ましい。

## 4 入学者受入の種類と方法の概要

一般選抜	前期日程	自然科学の専門知識を修得できるかを判断するため、大学入学共通テストによる基礎学力、個別学力試験の理科と英語の学力を重視する。また、調査書で高校での主体性のある活動や態度などを評価する。
	後期日程	大学入学共通テストによる基礎学力のほか、問題発見能力や論理的な思考力、表現力を判断するため、個別学力試験での小論文を重視する。また、調査書で高校での主体性のある活動や態度などを評価する。
総合型選抜		本学での修学に明確な目標を持ち、生物・農業・環境に関連する分野の課題の解決に取り組む意欲や、表現力、主体性、協働力を判断するためのプレゼンテーションと、学びに対する関心・意欲、思考力・判断力、基礎学力などを確認するための面接と総合問題を重視する。
学校推薦型選抜	推薦選抜Ⅰ	本学での修学に明確な目標を持ち、生物・農業・環境に関連する基礎的知識、思考力・判断力、表現力をみるための小論文と、将来、地域の発展に貢献できる人材であるかを判断するため、学びに対する関心・意欲や主体性、協働力、基礎学力などを確認するための面接を重視する。
	推薦選抜Ⅱ	本学での修学に明確な目標を持ち、生物・農業・環境に関連する基礎的知識、思考力・判断力、表現力をみるための小論文と、将来、地域の発展に貢献できる人材であるかを判断するため、学びに対する関心・意欲や主体性、協働力、基礎学力などを確認するための面接を重視する。
	推薦選抜Ⅲ	本学での修学に明確な目標を持ち、生物・農業・環境に関連する分野の課題の科学的な解決に取り組む意欲などを判断するため、大学入学共通テストによる理科の学力と面接を重視する。

## 5 過年度の大学入試センター試験成績

過年度の大学入試センター試験の成績は、利用しません。

## 6 入学者選抜方法等

### (1) 一般選抜

#### 前期日程

実施学科	応用生物科学科	生物生産科学科	生物環境科学科	アグリビジネス学科
募集人員	20	20	15	16
求める人材	高等学校等教育課程で定められた基礎学力を有し、自然科学を学ぶために必要な理科、英語の学力を有する人			
出願要件	<p>次の①から③のいずれかに該当し、令和3年度大学入学共通テストで本学部の指定する教科・科目を受験している者が出願できます。</p> <p>① 高等学校または中等教育学校を卒業した者及び令和3年3月卒業見込みの者（学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第104条第3項の規定により、学年の途中において、学期の区分に従い、高等学校の卒業を認められる者も含む）</p> <p>② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和3年3月修了見込みの者</p> <p>③ 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者のうち、次の各項目のいずれかに該当する者及び令和3年3月31日までにこれに該当する見込みの者</p> <p>ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの</p> <p>イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者</p> <p>ウ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者</p> <p>エ 文部科学大臣の指定した者（昭和23年5月31日文部省告示第47号）</p> <p>オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同令附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む）で18歳に達したもの</p> <p>カ 本学の定めるところにより、個別の入学資格審査をもって、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本学において認めた者で、18歳に達したもの</p> <p>※入学資格審査については、24ページを参照してください。</p>			
選抜方法等	<p>大学入学共通テスト及び個別学力検査の成績並びに調査書を総合して判定します。</p> <p>各学科の実施教科・科目等は、18～19ページを参照してください。</p>			
出願期間	令和3年1月25日（月）～2月5日（金）			
選抜期日	令和3年2月25日（木）			
合格者発表	令和3年3月6日（土）			

## 後期日程

実施学科	応用生物科学科	生物生産科学科	生物環境科学科	アグリビジネス学科
募集人員	8	8	6	6
求める人材	<p>高等学校等教育課程で定められた基礎学力を有し、問題発見能力と論理的な思考力や表現力を有する人</p>			
出願要件	<p>次の①から③のいずれかに該当し、令和3年度大学入学共通テストで本学部の指定する教科・科目を受験している者が出願できます。</p> <p>① 高等学校または中等教育学校を卒業した者及び令和3年3月卒業見込みの者（学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第104条第3項の規定により、学年の途中において、学期の区分に従い、高等学校の卒業を認められる者も含む）</p> <p>② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和3年3月修了見込みの者</p> <p>③ 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者のうち、次の各項目のいずれかに該当する者及び令和3年3月31日までにこれに該当する見込みの者</p> <p>ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの</p> <p>イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者</p> <p>ウ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者</p> <p>エ 文部科学大臣の指定した者（昭和23年5月31日文部省告示第47号）</p> <p>オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同令附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む）で18歳に達したもの</p> <p>カ 本学の定めるところにより、個別の入学資格審査をもって、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本学において認めた者で、18歳に達したもの</p> <p>※入学資格審査については、24ページを参照してください。</p>			
選抜方法等	<p>大学入学共通テスト及び個別学力検査（小論文）の成績並びに調査書を総合して判定します。各学科の実施教科・科目等は、18～19ページを参照してください。</p>			
出願期間	令和3年1月25日（月）～2月5日（金）			
選抜期日	令和3年3月12日（金）			
合格者発表	令和3年3月21日（日）			

## ◎一般選抜（生物資源科学部）19ページの表の注意事項

一般選抜における、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の実施教科・科目等は、右表のとおりです。また、以下に右表の注意事項を記載しています。

### 19ページ【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

- ※1 大学入学共通テスト、地理歴史、公民において2科目受験した場合は、第1解答科目の成績を合否判定に利用します。
- ※2 大学入学共通テストの理科で、理科①と理科②を選択する場合は、「同一名称を含む科目」を選択することができます。
- ※3 大学入学共通テストの外国語『英語』には、リスニングを含みます。

### ○大学入学共通テストの配点について

国語：大学入学共通テストの配点200点を100点に換算します。

理科：大学入学共通テストの理科①の配点は2科目100点、理科②の配点は1科目100点とします。

英語：大学入学共通テストの配点200点（リーディング100点、リスニング100点）を100点（リーディング50点、リスニング50点）に換算します。ただし、大学入試センターがリスニングの免除を認めた場合は、リーディングの配点を100点とします。

### 19ページ【個別学力検査等】欄

- ※4 理科の化学基礎・化学 と 生物基礎・生物は、高等学校学習指導要領に記載されている全項目を出題範囲とします。

### 19ページ【欠員補充の方法】欄

- ※5 追加合格の実施の有無については、令和3年3月28日（日）以降に本学ホームページでお知らせします。

## ◎入学生特待生について

「入学生特待生」を希望する者は、25ページの「Ⅶ 入学生特待生について」を参照してください。

一般選抜（生物資源科学部）

学部・学科名 及び募集人員	学力検査等の 区分・日程	科目 選択 パターン・配点	大学入学共通テストの利用教科・科目名																				個別学力検査等							計	配点合計	欠員補充 の方法	備考						
			国語										数学				理科 ※2						外国語				計	計	欠員補充 の方法					備考					
			国語		地理歴史 ※1					公民 ※1			数学①		数学②		理科①			理科②			英語 ※3		フランス語										中国語		韓国語		
			国語 A	国語 B	地理A	地理B	日本史A	日本史B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理、政治・経済	数学I	数学I・数学A	数学II	数学II・数学B	簿記・会計	情報関係基礎	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	英語								ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語	理科 ※4 生物基礎・生物
生物資源 科学部 99人 前期 71人 後期 28人	応用生物 科学科 28人 前期 20人 後期 8人	前期 2月25日	(1)	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	◎			○	○	○	○		○	○	◎		
			(2)	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	◎								○	○	○	○	◎												
		配点	100	100					200				200						100				700	300	200		500	1200	追加合格 ※5	調査書の評価を配点 合計の0.5%を上限と して加点する。									
		後期 3月12日	(1)	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	◎				○	○	○	○	○	○	○	◎													◎
	(2)		◎	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	◎									○	○	○	○	◎												1	
	配点	100	100					200				200						100				700				300	300	1000											
	生物生産 科学科 28人 前期 20人 後期 8人	前期 2月25日	(1)	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	◎				○	○	○	○	○	○	○	◎							○	○	◎					
			(2)	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	◎									○	○	○	○	◎												
配点			100	100					200				200						100				700	300	200		500	1200			追加合格 ※5	調査書の評価を配点 合計の0.5%を上限と して加点する。							
後期 3月12日			(1)	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	◎				○	○	○	○	○	○	○	◎														
		(2)	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	◎									○	○	○	○	◎											1		
配点		100	100					200				200						100				700				300	300	1000											
生物環境 科学科 21人 前期 15人 後期 6人		前期 2月25日	(1)	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	◎				○	○	○	○	○	○	○	◎				○	○			◎						
			(2)	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	◎									○	○	○	○	◎												
	配点		100	100					200				200						100				700	300	200		500	1200	追加合格 ※5	調査書の評価を配点 合計の0.5%を上限と して加点する。									
	後期 3月12日		(1)	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	◎				○	○	○	○	○	○	○	◎														
		(2)	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	◎									○	○	○	○	◎											1		
	配点	100	100					200				200						100				700				300	300	1000											
	アグリ ビジネス学科 22人 前期 16人 後期 6人	前期 2月25日	(1)	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	◎				○	○	○	○	○	○	○	◎						○	○	◎						
			(2)	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	◎									○	○	○	○	◎												
配点			100	100					200				200						100				700	300	200		500	1200			追加合格 ※5	調査書の評価を配点 合計の0.5%を上限と して加点する。							
後期 3月12日			(1)	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	◎				○	○	○	○	○	○	○	◎														
		(2)	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	◎									○	○	○	○	◎											1		
配点		100	100					200				200						100				700				300	300	1000											

表中の◎は受験を要する科目、○は選択し受験を要する科目、その下欄の数字は教科ごとの必要科目数を示します。

## (2) 総合型選抜・学校推薦型選抜

### 総合型選抜【大学入学共通テストを課さない】

実施学科	応用生物科学科	生物生産科学科	生物環境科学科	アグリビジネス学科
募集人員	2	2	2	2
求める人材	秋田県内の高等学校在学中に本学部に関連する分野において特色ある活動を主体的に行った者を対象とし、本学での修学に明確な目標を持ち、将来、生物・農業・環境に関連する分野の課題の解決に取り組む意欲のある人			
出願要件	<p>次の①及び②に該当する者</p> <p>① 秋田県内の高等学校を令和3年3月に卒業見込みの者（学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第104条第3項の規定により、学年の途中において、学期の区分に従い、高等学校の卒業を認められる者も含む）</p> <p>② 高等学校在学中に本学部に関連する分野において特色ある活動を主体的に行った者</p> <p>③ 合格した場合には入学を確約できる者</p>			
選抜方法等	<p>大学入学共通テストは課さず、「総合問題」「面接」「プレゼンテーション」の結果を総合して評価します。なお、調査書、志望理由書の評価は面接に含み、特色ある活動に関する活動報告書の評価はプレゼンテーションに含みます。</p> <p>【配点：総合問題100点、面接100点、プレゼンテーション200点】</p>			
出願期間	令和2年9月15日（火）～9月18日（金）			
選抜期日	令和2年10月10日（土）			
合格者発表	令和2年11月1日（日）			
備考	<p>① 本学の総合型選抜に合格し入学手続を行った者は、本学及び他の国公立大学（ただし、独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ）を受験しても、その大学の合格者とはなりません。</p> <p>② 総合型選抜の合格者は、総合型選抜の趣旨から、原則として入学辞退を認めません。ただし、合格者に特別の事情があり、令和3年2月22日（月）までに秋田県立大学長あてに「入学辞退届」を提出し、その許可が得られた場合に限り、入学辞退を認めます。なお、入学辞退が許可された者は、本学及び他の国公立大学を受験することができます。</p>			

◆ 「入学生特待生」を希望する者は、25ページの VII 入学生特待生について を参照してください。

## 推薦選抜Ⅰ【大学入学共通テストを課さない】

実施学科	応用生物科学科	生物生産科学科	生物環境科学科	アグリビジネス学科
募集人員	2	2	2	10 ※備考欄参照
求める人材	本学での修学に明確な目標を持ち、将来、地域の発展に貢献することを目指す人			
出願要件	<p>次の①から④のすべてに該当する者</p> <p>① 秋田県内の高等学校の農業、工業、水産に関する学科または総合学科（農業、工業、水産に関する専門科目を、合計20単位以上修得見込み）を令和3年3月に卒業見込みの者（学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第104条第3項の規定により、学年の途中において、学期の区分に従い、高等学校の卒業を認められる者も含む）</p> <p>※ アグリビジネス学科については、全国の高等学校の農業、工業、商業、水産に関する学科若しくは総合学科（農業、工業、商業、水産に関する専門科目を、合計20単位以上修得見込み）を卒業（修了）見込みの者も含む。</p> <p>② 志望する学部、学科に対し熱意と適性を有する者で、高等学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>③ 合格した場合には入学を確約できる者</p> <p>④ 調査書の全体の学習成績の状況が原則4.3以上である者</p>			
選抜方法等	<p>大学入学共通テストは課さず、「小論文」「面接」の結果を総合して評価します。なお、口頭試問、調査書、推薦書、志望理由書の評価は面接に含みます。</p> <p>【配点：小論文300点 面接500点】</p>			
出願期間	令和2年11月9日（月）～13日（金）			
選抜期日	令和2年11月21日（土）			
合格者発表	令和2年12月1日（火）			
備考	<p>① アグリビジネス学科の募集定員の10人のうち5人は秋田県内を含む全国の高等学校で上記条件に該当する者を対象とします。</p> <p>② 国公立大学の学校推薦型選抜への出願は、一つの大学・学部に限られています。</p> <p>③ ただし、本学の大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜（推薦選抜Ⅰ・Ⅱ）の合格発表後、同一学科の大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜（推薦選抜Ⅲ）に前者の不合格者が後者の被推薦者となった場合に限り、その出願を認めます。</p> <p>④ 本学の推薦選抜に合格した者は、本学及び他の国公立大学（ただし、独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ）を受験しても、その大学の合格者とはなりません。</p> <p>⑤ 合格者に特別の事情があり、合格者を推薦した学校長が、令和3年2月22日（月）までに秋田県立大学長あてに「推薦入学辞退願」を提出し、その許可が得られた場合に限り、入学辞退を認めます。入学辞退が許可された者は、本学及び他の国公立大学を受験することができます。</p> <p>⑥ 入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は、合格者の権利を消失するとともに、本学及び他の国公立大学を受験しても合格者とはなりません。</p>			

◆ 「入学生特待生」を希望する者は、25ページの **Ⅶ 入学生特待生について** を参照してください。

## 推薦選抜Ⅱ【大学入学共通テストを課さない】

実施学科	応用生物科学科	生物生産科学科	生物環境科学科	アグリビジネス学科
募集人員	4	4	3	4
求める人材	本学での修学に強い意欲を持ち、将来、地域の発展に貢献することを目指す人			
出願要件	<p>次の①～④のすべてに該当する者</p> <p>① 秋田県内の高等学校を令和3年3月に卒業見込みの者で、推薦選抜Ⅰの対象者以外の者（学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第104条第3項の規定により、学年の途中において、学期の区分に従い、高等学校の卒業を認められる者も含む）</p> <p>② 志望する学部、学科に対し熱意と適性を有する者で、高等学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>③ 合格した場合には入学を確約できる者</p> <p>④ 調査書の全体の学習成績の状況が原則4.3以上である者</p>			
選抜方法等	<p>大学入学共通テストは課さず、「小論文」「面接」の結果を総合して評価します。なお、口頭試問、調査書、推薦書、志望理由書の評価は面接に含まれます。</p> <p>【配点：小論文300点 面接500点】</p>			
出願期間	令和2年11月9日（月）～13日（金）			
選抜期日	令和2年11月21日（土）			
合格者発表	令和2年12月1日（火）			
備考	<p>① 国公立大学の学校推薦型選抜への出願は、一つの大学・学部に限られています。</p> <p>② ただし、本学の大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜（推薦選抜Ⅰ・Ⅱ）の合格発表後、同一学科の大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜（推薦選抜Ⅲ）に前者の不合格者が後者の被推薦者となった場合に限り、その出願を認めます。</p> <p>③ 本学の推薦選抜に合格した者は、本学及び他の国公立大学（ただし、独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ）を受験しても、その大学の合格者とはなりません。</p> <p>④ 合格者に特別の事情があり、合格者を推薦した学校長が、令和3年2月22日（月）までに秋田県立大学長あてに「推薦入学辞退願」を提出し、その許可が得られた場合に限り、入学辞退を認めます。入学辞退が許可された者は、本学及び他の国公立大学を受験することができます。</p> <p>⑤ 入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は、合格者の権利を消失するとともに、本学及び他の国公立大学を受験しても合格者とはなりません。</p>			

◆ 「入学生特待生」を希望する者は、25ページの **Ⅶ 入学生特待生について** を参照してください。

### 推薦選抜Ⅲ【大学入学共通テストを課す】

実施学科	応用生物科学科	生物生産科学科	生物環境科学科	アグリビジネス学科
募集人員	4	4	2	2
求める人材	秋田県内の高等学校で理科の基礎学力を有し、生物・農業・環境に関連する分野の課題の科学的な解決に取り組む意欲のある人			
出願要件	<p>次の①から④のすべてに該当する者</p> <p>① 秋田県内の高等学校を令和3年3月に卒業見込みの者（学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第104条第3項の規定により、学年の途中において、学期の区分に従い、高等学校の卒業を認められる者も含む）</p> <p>② 志望する学部、学科に対し熱意と適性を有する者で、高等学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>③ 合格した場合には入学を確約できる者</p> <p>④ 令和3年度大学入学共通テストで本学部が指定する教科・科目を受験する者</p>			
選抜方法等	<p>大学入学共通テストの成績と「面接」の結果を総合して評価します。なお、調査書、推薦書、志望理由書の評価は面接に含みます。</p> <p>大学入学共通テストで受験を要する科目</p> <p>数学①（100点）：「数学Ⅰ・A」</p> <p>数学②（100点）：「数学Ⅱ・B」</p> <p>理科（400点）：「理科②から2科目」または「理科①から2科目及び理科②から1科目」</p> <p>外国語（200点）：「英語（リスニングを含む）」</p> <p>【配点：大学入学共通テスト800点 面接200点】</p>			
出願期間	令和3年1月4日（月）～8日（金）			
選抜期日	令和3年2月6日（土）			
合格者発表	令和3年2月16日（火）			
備考	<p>① 国公立大学の学校推薦型選抜への出願は、一つの大学・学部に限られています。</p> <p>② ただし、本学の大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜（推薦選抜Ⅰ・Ⅱ）の合格発表後、同一学科の大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜（推薦選抜Ⅲ）に前者の不合格者が後者の被推薦者となった場合に限り、その出願を認めます。</p> <p>③ 本学の推薦選抜に合格した者は、本学及び他の国公立大学（ただし、独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ）を受験しても、その大学の合格者とはなりません。</p> <p>④ 合格者に特別の事情があり、合格者を推薦した学校長が、令和3年2月22日（月）までに秋田県立大学長あてに「推薦入学辞退願」を提出し、その許可が得られた場合に限り、入学辞退を認めます。入学辞退が許可された者は、本学及び他の国公立大学を受験することができます。</p> <p>⑤ 入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は、合格者の権利を消失するとともに、本学及び他の国公立大学を受験しても合格者とはなりません。</p>			

◆ 「入学生特待生」を希望する者は、25ページの Ⅶ 入学生特待生について を参照してください。

## V 障害等のある入学志願者の合理的配慮に関する事前相談について

本学に入学を志願する者で、障害や疾病・負傷等により、受験上及び修学上において特別の配慮を希望する場合は、出願に先立ち、できるだけ早く事前相談を行うようにしてください。その際、本学ホームページに掲載している指定の様式に必要事項を記入のうえ、医師の診断書等を添えて、所定の期限までに相談してください。相談を受けて、志願者の普段の様子をよく知る者（担任の先生など）に連絡をとることもあります。また、希望する配慮を必ずしも実施できるとは限りません。相談先は、システム科学技術学部を志願する者は本荘キャンパス、生物資源科学部を志願する者は秋田キャンパスとなります。また、事前相談の期限後に不慮の事故等により、受験上及び修学上の配慮が必要になった場合についても、速やかにご相談ください。

なお、事前相談の申請を行った場合であっても、本学への出願が義務づけられるものではありません。

試験区分	事前相談の期限
総合型選抜	令和2年 9月 8日（火）
推薦選抜 I・II	令和2年10月23日（金）
推薦選抜 III	令和2年12月18日（金）
一般選抜（前期日程・後期日程）	令和3年 1月20日（水）

## VI 秋田県立大学個別の入学資格審査について

学校教育法施行規則第150条第7号の規定により、本学への入学を希望する者について、個別の入学資格審査を行いますので、本学ホームページに掲載している指定の様式に必要事項を記入し、指定の期日までに提出してください。入学資格を認められた場合にのみ、出願資格が認められることとなります。なお、対象となる選抜区分は、「一般選抜（前期日程・後期日程）」となります。

### 1 提出書類

- 入学資格審査申請書（本学所定の様式）※本学ホームページからダウンロードすることができます。
- 返信用封筒（長形3号封筒に郵便番号と住所、氏名を明記し、速達・簡易書留郵送分の切手を貼ったもの）
- その他本学が提出を求めた書類

### 2 提出書類の提出期限と提出先

- 提出期限

試験区分	提出期間
一般選抜（前期日程・後期日程）	令和3年 1月18日（月）～20日（水）

- 提出先

秋田県立大学 アドミッションチーム（秋田キャンパス）  
〒010-0195 秋田県秋田市下新城野字街道端西241-438  
※書留での郵送か、直接持参してください。

### 3 入学資格の個別審査

提出書類により入学資格の有無について個別審査を行います。

### 4 結果の通知

入学資格審査の結果については、出願期間開始前までに申請者本人に書面にて通知します。

## Ⅶ 入学生特待生について

### (1) 「入学生特待生」とは…

本学では基本理念である「21世紀を担う次代の人材育成」に基づき、優秀な学業成績により他の学生の模範となる者を「特待生」として認定しています。

「特待生」には「入学生特待生」と「在学学生特待生」があり、「入学生特待生」は当該年度における学部の新入生で入学者選抜試験の成績等により認定された者をいいます。

### (2) 「入学生特待生に認定されるためには」…

令和3年度入学者選抜試験において、次の認定要件を満たすことにより入学生特待生対象者となります。

認定要件	秋田県内の高等学校等を卒業（修了）した者で、次の①から③のいずれかの要件を満たす者 ① 推薦選抜Ⅲにより選抜された入学者で、大学入学共通テスト得点率が、本学の定める配点の70%以上である者 ② 総合型選抜、推薦選抜Ⅰ・Ⅱにより選抜された入学者で、大学入学共通テスト得点率が本学の定める配点の70%以上であることを証明する「成績通知書」を提出した者* ③ 一般選抜により選抜された入学者で、大学入学共通テスト得点率が、本学の定める配点の75%以上である者
特待生の期間	決定された年度から4年間（当該年度の学業成績結果により、翌年度の奨学金が停止される場合がある）
付与する特典	認定証及び奨学金（年間授業料相当額）
定員	なし（認定要件を満たした者すべて）

※ 認定要件②で入学生特待生を希望する者は、下記の＜本学が指定する大学入学共通テストの教科・科目、配点＞を確認できる「成績通知書」の提出が必須となります。大学入学共通テストの出願時に成績開示手数料を検定料と併せて払い込んでください。なお、入学後は大学入試センターから送付される「成績通知書」を本学のアドミッションチームに提出してください。

＜本学が指定する大学入学共通テストの教科・科目、配点＞

- ・システム科学技術学部を受験する者は、8ページの「大学入学共通テストの利用教科・科目名」欄に記載している5教科7科目、または5教科8科目及び配点。
- ・生物資源科学部を受験する者は、19ページの「大学入学共通テストの利用教科・科目名」欄に記載している5教科7科目、または5教科8科目及び配点。

## VIII オープンキャンパス等の進学広報イベントのお知らせ

本学では、入学を志す高校生とその保護者及び高校教員向けにオープンキャンパスや進学相談会等で大学紹介を行っていますが、令和2年度は新型コロナウイルスの影響で、オープンキャンパスの開催を見送ることとなりました。また、進学相談会についても中止となっています。

秋田県立大学ではそのような中でも大学のことを知ってもらうためにインターネット上でも情報発信を行っています。学長や学部長からのメッセージの他、大学での実習の様子やキャンパスの様子、学生自主研究などについても写真や動画でご覧いただくことができます。このほかにも高校単位での「キャンパス見学」や、完全予約制のプライベートオープンキャンパス「毎週土曜日は秋田県立大学の日」などの進学広報イベントを実施しています。詳細は本学ホームページ内の「大学進学相談、キャンパス見学、出前講義」をご覧ください。

秋田県立大学の特色・魅力について視覚や聴覚から情報伝達をするための写真・動画・VRなどのコンテンツを集約した特設サイト（Kenstagram）



## IX 募集要項の発表時期及び請求方法

### (1) 発表時期

発表時期	資料名	媒体
6月上旬	大学案内	冊子及びPDFデータ
7月下旬	入学者選抜要項	冊子及びPDFデータ
7月下旬	総合型選抜学生募集要項	PDFデータ
10月上旬	学校推薦型選抜学生募集要項	PDFデータ
10月上旬	一般選抜学生募集要項	PDFデータ

※PDFデータは本学ホームページに掲載

### (2) 請求方法

令和3年4月入学者選抜より、募集要項は全てWebでの公開のみとし、請求できるのは、大学案内及び入学者選抜要項のみとなります。

#### 1. 「テレメールで請求する場合」

① 下記のいずれかの方法でテレメールにアクセスしてください。

インターネット (パソコン・スマートフォン・携帯電話)	<a href="https://telemail.jp">https://telemail.jp</a> パソコン・スマートフォン・携帯電話 各社共通です。	携帯電話・スマートフォンで 2次元コードを読み取りアクセスした場合は、資料請求番号の入力は不要です。	
自動音声応答電話	IP電話 050-8601-0101 (24時間受付) ※一般電話回線からの通話料金は日本全国どこからでも3分毎に約12円です。		

② 請求を希望する資料請求番号（6桁）を入力またはプッシュしてください。

発送開始時期	資料名	資料請求番号	予定料金（送料含）
6月中旬	大学案内	560922	250円
9月上旬	入学者選抜要項	580922	180円

※入学者選抜要項と大学案内との一括請求も可能です。（資料請求番号：560902、予定料金（送料含）：250円）

③ 画面の指示または音声ガイダンスに従って登録してください。

※資料は通常、発送日からおおむね3～4日でお届けできます。また、地域や郵便事情によってはお届けに1週間程度要する場合があります。なお、午後5時30分までの受付は当日発送、午後5時30分以降の受付は翌日発送となります。

※発送開始日以前に請求された資料は予約受付となり、発送開始日に一斉に発送します。

※料金は、お届けした資料に同封されている料金支払い用紙の支払方法に従いお支払いください。（支払いに際して、別途手数料が必要になります。）お支払い方法は「コンビニ支払い」「ゆうちょ銀行・郵便局での払込み」「ケータイ払い」「クレジットカード払い」がご利用になれます。また、ケータイ払い、クレジットカード払い、コンビニ支払いは、1回分の手数料で、複数資料の料金をまとめて支払うこともできます。

※自動音声応答電話による請求の場合、住所、名前の登録は、ゆっくりはっきりとお話してください。

※登録された音声の不鮮明な場合は資料をお届けできないことがあります。

※資料のお届け・個人情報に関するお問い合わせは、「テレメールカスタマーセンター」へお願いします。

テレメールカスタマーセンター TEL：050-8601-0102（午前9時30分～午後6時）

## 2. 「本学へ直接請求する場合」

下記の請求先までお電話にて請求してください。

### 請求先

#### システム科学技術学部（アドミッションチーム）

〒015-0055 秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84-4

TEL：0184-27-2100 FAX：0184-27-2180

#### 生物資源科学部（アドミッションチーム）

〒010-0195 秋田県秋田市下新城字街道端西241-438

TEL：018-872-1535 FAX：018-872-1670

# 新型コロナウイルス感染症に伴う入学者選抜に関する方針

令和2年7月31日  
秋田県立大学

## 1. 試験実施上の配慮について

(総合型選抜及び学校推薦型選抜)

本学では受験者の高校在籍時に参加した大会や資格・検定試験について、努力を積み重ねる姿勢や取り組む意欲に重点を置いて総合的に評価しており、成績や結果だけで評価することはしていません。そのため、新型コロナウイルス感染症の発生により中止・延期となった大会や資格・検定試験についてもこれまでと同様に、結果等だけで評価するのではなく、成果獲得に向けた努力のプロセスや学ぼうとする意欲を多面的・総合的に評価します。

(一般選抜)

個別学力検査における数学及び理科の出題範囲については入学者選抜要項及び学生募集要項に記載のとおりとしますが、「発展的な学習内容」から出題する場合は、設問中に補足事項等を記載することとします。

## 2. 感染症の疑いのある者の受験について

次の①または②に該当する者は受験することができません。

- ① 新型コロナウイルス感染症に罹患し、試験当日までに医師が治癒したと診断していない者や、試験直前に保健所等から濃厚接触者に該当するとされた者
- ② 発熱・咳等の症状があり、試験当日の検温で37.5度以上の熱がある者

## 3. 試験当日に欠席となった場合の特別対応について

次の①または②に該当する者には以下の特別対応を行います。

- ① 上記2の①に該当し、試験当日の午前11時までに募集要項に記載の出願先（以下「出願先」という。）まで電話連絡をした上で、そのことを示す書類を以下の期限までに提出した者
- ② 上記2の②に該当し、その旨を試験当日の午前11時までに出願先に電話連絡をした者もしくは試験会場での検温で37.5度以上の熱があることが判明した者

選抜区分	特別対応	提出期限（必着）※
総合型選抜	後日追試験を実施します。追試験に関する詳細は対象者に通知します。	令和2年10月13日(火)
学校推薦型選抜	推薦選抜Ⅰ・Ⅱ 後日追試験を実施します。追試験に関する詳細は対象者に通知します。	令和2年11月24日(火)
	推薦選抜Ⅲ 大学入学共通テスト、調査書、志望理由書の内容を総合的に評価し、合否判定を行います。	令和3年2月9日(火)
一般選抜	前期日程 大学入学共通テスト、調査書の内容を総合的に評価し、合否判定を行います。	令和3年3月1日(月)
	後期日程 大学入学共通テスト、調査書の内容を総合的に評価し、合否判定を行います。	令和3年3月15日(月)

※ 期限までに書類の提出が間に合わない場合は、事前に出願先へ電話連絡をしてください。

## 4. その他

新型コロナウイルス感染症の今後の状況によっては、本方針が変更となる場合があります。変更した場合は本学ホームページにてお知らせしますのでご確認ください。

また、その他不明な点についても出願先までお問い合わせください。

# 令和2年度入学者選抜状況

## (1) 入試区分別・入学者選抜の状況

区分 学部・学科	【推薦入試】																													
	推薦入学A					推薦入学B					推薦入学C (H12から実施)				特別推薦入学I (H15から実施)				特別推薦入学II (H21から実施)				推薦入試合計							
	募集 人員	出願 者数	受験 者数	合格 者数	入学 者数	募集 人員	出願 者数	受験 者数	合格 者数	入学 者数	募集 人員	出願 者数	受験 者数	合格 者数	入学 者数	募集 人員	出願 者数	受験 者数	合格 者数	入学 者数	募集 人員	出願 者数	受験 者数	合格 者数	入学 者数	募集 人員	出願 者数	受験 者数	合格 者数	入学 者数
システム科学技術学部	17	14	14	13	13	14	26	26	23	23	22	39	39	16	16	10	14	14	8	8	8	6	6	3	3	71	99	99	63	63
機械工学科	4	4	4	4	4	1	1	1	1	1	5	2	2	2	2											13	7	7	7	7
知能メカトロニクス学科	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	6	9	9	4	4						4	4	4	2	2	16	17	17	10	10
情報工学科	3	4	4	3	3	2	8	8	8	8	3	11	11	3	3						4	2	2	1	1	12	25	25	15	15
建築環境システム学科	2	2	2	2	2	9	9	6	6	6	4	12	12	5	5	6	13	13	7	7						14	36	36	20	20
経営システム工学科	4	2	2	2	2	4	6	6	6	6	4	5	5	2	2	4	1	1	1	1						16	14	14	11	11
生物資源科学部	20	18	18	13	13	17	41	41	29	29	14	27	27	13	13											51	86	86	55	55
応用生物科学科	2	2	2	1	1	4	15	15	8	8	6	11	11	4	4											12	28	28	13	13
生物生産科学科	4	0	0	0	0	4	7	7	7	7	4	7	7	4	4											12	14	14	11	11
生物環境科学科	2	1	1	0	0	3	6	6	6	6	4	9	9	5	5											9	16	16	11	11
アグリビジネス学科	12	15	15	12	12	6	13	13	8	8																18	28	28	20	20
合計	37	32	32	26	26	31	67	67	52	52	36	66	66	29	29	10	14	14	8	8	8	6	6	3	3	122	185	185	118	118

区分 学部・学科	【AO入試】 (H14から実施)					【一般入試】															合計				
						前期日程					後期日程					一般入試計									
	募集 人員	出願 者数	受験 者数	合格 者数	入学 者数	募集 人員	出願 者数	受験 者数	合格 者数	入学 者数	募集 人員	出願 者数	受験 者数	合格 者数	入学 者数	募集 人員	出願 者数	受験 者数	合格 者数	入学 者数	募集 人員	出願 者数	受験 者数	合格 者数	入学 者数
システム科学技術学部	3	1	1	1	1	120	501	445	179	147	46	494	153	57	36	166	995	598	236	183	240	1,095	698	300	247
機械工学科	3	1	1	1	1	34	98	88	52	42	10	106	25	19	10	44	204	113	71	52	60	212	121	79	60
知能メカトロニクス学科						30	144	124	49	40	14	113	33	16	10	44	257	157	65	50	60	274	174	75	60
情報工学科						18	102	95	26	23	10	137	43	10	7	28	239	138	36	30	40	264	163	51	45
建築環境システム学科						20	98	87	20	17	6	96	37	6	4	26	194	124	26	21	40	230	160	46	41
経営システム工学科						18	59	51	32	25	6	42	15	6	5	24	101	66	38	30	40	115	80	49	41
生物資源科学部						71	390	344	91	71	28	409	119	43	37	99	799	463	134	108	150	885	549	189	163
応用生物科学科						20	105	93	24	18	8	128	34	16	13	28	233	127	40	31	40	261	155	53	44
生物生産科学科						20	120	108	25	20	8	119	39	14	12	28	239	147	39	32	40	253	161	50	43
生物環境科学科						15	92	80	19	16	6	99	29	7	6	21	191	109	26	22	30	207	125	37	33
アグリビジネス学科						16	73	63	23	17	6	63	17	6	6	22	136	80	29	23	40	164	108	49	43
合計	3	1	1	1	1	191	891	789	270	218	74	903	272	100	73	265	1,794	1,061	370	291	390	1,980	1,247	489	410

## (2) 令和2年度出身都道府県別・入学者数等

		システム科学技術学部			生物資源科学部			合 計		
		出願者	受験者	合格者	出願者	受験者	合格者	出願者	受験者	合格者
1	北海道	9	4	3	31	16	4	40	20	7
2	青森県	44	28	12	51	29	9	95	57	21
3	岩手県	92	60	29	45	23	11	137	83	40
4	宮城県	64	43	10	46	37	8	110	80	18
5	秋田県	204	157	72	183	132	65	387	289	137
6	山形県	42	23	9	37	23	5	79	46	14
7	福島県	59	33	12	41	25	6	100	58	18
8	茨城県	38	24	16	47	25	6	85	49	22
9	栃木県	83	49	25	64	34	10	147	83	35
10	群馬県	38	26	7	19	12	6	57	38	13
11	埼玉県	25	19	6	26	16	3	51	35	9
12	千葉県	8	5	2	9	6	2	17	11	4
13	東京都	12	8	5	17	9	4	29	17	9
14	神奈川県	6	3	0	4	2	0	10	5	0
15	新潟県	88	44	18	42	22	6	130	66	24
16	富山県	14	9	4	13	6	3	27	15	7
17	石川県	12	6	4	8	6	2	20	12	6
18	福井県	9	6	1	2	1	0	11	7	1
19	山梨県	8	3	1	13	5	1	21	8	2
20	長野県	17	11	4	13	6	1	30	17	5
21	岐阜県	20	13	5	16	12	3	36	25	8
22	静岡県	51	29	13	32	17	8	83	46	21
23	愛知県	91	55	30	43	26	10	134	81	40
24	三重県	9	8	2	10	9	1	19	17	3
25	滋賀県	2	2	0	3	2	2	5	4	2
26	京都府	2	1	0	6	4	0	8	5	0
27	大阪府	10	5	0	11	8	2	21	13	2
28	兵庫県	17	12	6	8	5	1	25	17	7
29	奈良県	1	1	1	1	1	0	2	2	1
30	和歌山県	4	1	0	6	3	1	10	4	1
31	鳥取県	1	0	0	2	2	0	3	2	0
32	島根県	1	1	0	1	1	0	2	2	0
33	岡山県	2	1	1	3	3	0	5	4	1
34	広島県	2	1	0	3	1	0	5	2	0
35	山口県	1	0	0	1	1	0	2	1	0
36	徳島県	1	1	0	7	6	4	8	7	4
37	香川県	0	0	0	4	3	0	4	3	0
38	愛媛県	4	3	2	2	1	0	6	4	2
39	高知県	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40	福岡県	1	1	0	4	2	0	5	3	0
41	佐賀県	0	0	0	0	0	0	0	0	0
42	長崎県	0	0	0	1	0	0	1	0	0
43	熊本県	0	0	0	0	0	0	0	0	0
44	大分県	0	0	0	2	1	1	2	1	1
45	宮崎県	0	0	0	0	0	0	0	0	0
46	鹿児島県	0	0	0	6	4	4	6	4	4
47	沖縄県	1	1	0	0	0	0	1	1	0
48	その他	2	1	0	2	2	0	4	3	0
総	計	1,095	698	300	885	549	189	1,980	1,247	489

\* 出身都道府県は、出身高等学校の所在地による。  
また、その他は高等学校卒業程度認定試験合格者等である。

# キャンパス案内図

## 【本荘キャンパス・システム科学技術学部】

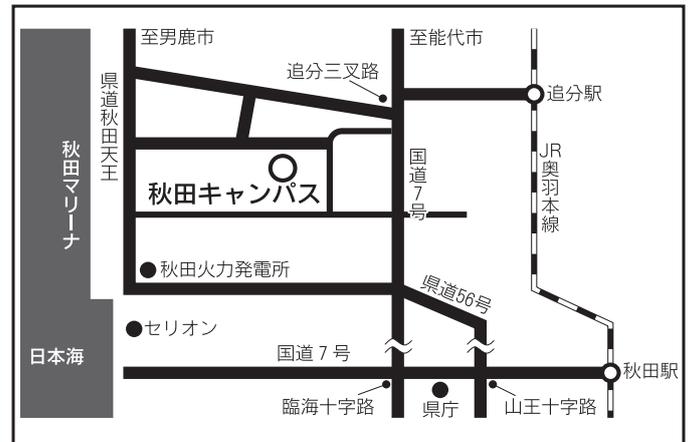


〒015-0055 秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84-4  
TEL 0184-27-2100 FAX 0184-27-2180

### ● 交通案内

- ・秋田空港から車で約50分
- ・羽後本荘駅から徒歩で約30分
- ・JR羽越本線「羽後本荘駅」からバス（県立大学線）の終点（約10分）で下車（土・日は運休）
- ・JR羽越本線「羽後本荘駅」からバス（市内線（東回り）、本荘伏見線、東由利線）を利用して、バス停「県立大学入口」（約5分）にて下車後、徒歩15分
- ・日本海東北自動車道本荘ICから車で約5分

## 【秋田キャンパス・生物資源科学部】



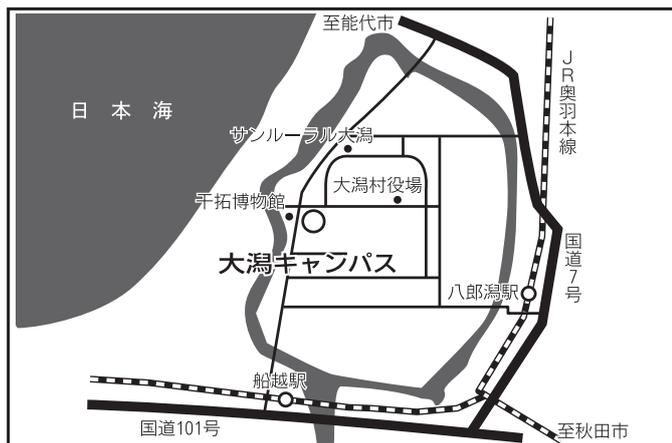
〒010-0195 秋田県秋田市下新城中野字街道端西241-438  
TEL 018-872-1500 FAX 018-872-1670

### ● 交通案内

- ・秋田空港から車で約1時間
- ・秋田駅から車で約30分
- ・JR奥羽本線・男鹿線「追分駅」にて下車後、徒歩約20分
- ・JR奥羽本線「秋田駅」からバス（五城目線、追分線）を利用して、バス停「追分三叉路」（約40分）にて下車後、徒歩10分

## 【大潟キャンパス・生物資源科学部】

アグリビジネス学科3・4年次

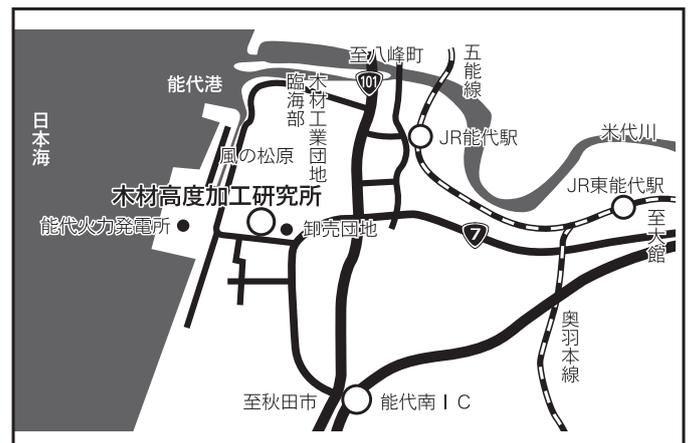


〒010-0444 秋田県南秋田郡大潟村字南2-2  
TEL 0185-45-2026 FAX 0185-45-2377

### ● 交通案内

- ・秋田空港から車で約1時間30分
- ・JR奥羽本線「八郎潟駅」から大潟村循環バスを利用して、バス停「カントリー公社事務所前」（約20分）にて下車後、徒歩5分

## 【木材高度加工研究所】



〒016-0876 秋田県能代市字海詠坂11-1  
TEL 0185-52-6900 FAX 0185-52-6924

### ● 交通案内

- ・秋田空港から車で約1時間30分
- ・大館能代空港から車で約1時間
- ・秋田駅から能代駅までJRで約50分、能代駅から車で約10分

出願、受験、その他の問い合わせ先

システム科学技術学部

〒015-0055

秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84-4

秋田県立大学 アドミッションチーム (本荘キャンパス)

TEL 0184-27-2100

FAX 0184-27-2180

生物資源科学部

〒010-0195

秋田県秋田市下新城野字街道端西241-438

秋田県立大学 アドミッションチーム (秋田キャンパス)

TEL 018-872-1535

FAX 018-872-1670

◎ホームページアドレス

<https://www.akita-pu.ac.jp/>